

誰が景観を

Diverse approach in

創るのか？

architecturing landscape



A drama without scenario
～筋書きの無い物語～

9/28 (水)

AM 9:30 - 12:00

東京国際フォーラム BFセミナールーム (A)

定員100名 参加無料

(メールにて申込)

主催 UIA2011東京大会日本組織委員会
後援 社団法人 建設コンサルタンツ協会 (JCCA)
社団法人 日本建築家協会 (JIA)



この30年で都心の姿は激変しています。しかし、我々が日常目にする景色（景観）は誰が決め、誰が創っているのか、また、偶然の産物も珍しくありません。でもあまりにも方向が見えないのが現代です。

誰が望み誰のために都市や街の景色が存在しているのでしょうか。きっとすぐに解決できるテーマではないかも知れません。

誰が景観を創るのか。今回のシンポジウムはあえて筋書きのない物語で、あらゆる角度から都市デザインの可能性をお届けしたいと思います。

＜プログラム＞

挨拶 黒木正郎 / 日本設計

(JIA都市づくり街づくり委員会 委員長)

富樫茂樹 / トーニチコンサルタント

(JCCA美しい国づくり専門委員会 委員長)

一部 ■ 基調講演

堀江敏幸 / 作家

■ メインスピーカー

1. 岡部憲明 / 建築家

2. 篠原 修 / 土木設計家

二部 ■ パネルディスカッション

メインスピーカー (上記3名)

+ 船曳鴻紅 / ㈱東京デザインセンター (JDCA代表理事)

西村 浩 / ㈱ワークヴィジョンズ (コーディネーター)

挨拶 青木 滋 / オリエンタルコンサルタンツ

(JCCA企画部 企画委員長)



写真：朝日新聞社提供

堀江 敏幸（ほりえ としゆき）

小説家、フランス文学者、早稲田大学教授

代表作:おぼらぼん、熊の敷石、スタンス・ドット(「当沼とその周辺」所収)、河岸忘日抄
早大卒。1995年「郊外へ」で小説家デビュー。1999年フランス留学時代の体験をもとにしたエッセイ集
「おぼらぼん」で三島由紀夫賞受賞。2001年「熊の敷石」で芥川賞、2003年「スタンス・ドット」(「当沼とその
周辺」所収)で川端康成文学賞受賞、2006年「河岸忘日抄」で読売文学賞受賞。
2004年より明治大学教授、2007年に早稲田大学文学学術院教授就任。



岡部 憲明（おかべ のりあき）

建築家、岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表。神戸芸術工科大学教授。

代表作:関西国際空港旅客ターミナルビル、牛深ハイヤ大橋、小田急ロマンスカー「VSE」、「MSE」
早稲田大学建築学科を卒業後、フランス政府給費研修生としてフランスに渡り、レンゾ・ピアノとともに
フランスやイタリアで活躍。フランス政府公認建築家となる。帰国後は Renzo Piano Building Workshop
Japan代表取締役を務め、現在は、岡部憲明アーキテクチャーネットワークを主宰している。



篠原 修（しのはら おさむ）

土木設計家、エンジニア・アーキテクト協会会長、GSデザイン会議代表

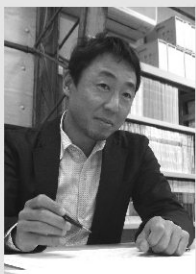
代表作:津和野川護岸・広場(島根県)、龐大橋(福岡県)、口豊本線 口向市駅
東京大学大学院修了後、(株)アーバンインダストリー入社。その後、東京大学農学部助手、旧建設省 等
を経て1989年より東京大学工学部助教授。1991年より 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻
教授。2006年に同大学を退官し、政策大学院大学教授。2011年に同大学を退官し、現在に至る。



船曳 鴻紅（ふなびき こうこ）

㈱東京デザインセンター代表取締役社長、日本デザインコンサルタント協会代表理事

東京大学社会学科を卒業後、夫、船曳建夫と共に、太平洋の未開地を含めた多様な文化の中で生活を
経験し、イギリスから帰国後、オックスフォード大学 Department for Continuing Education への留学プロ
グラムを設立。1992年に東京デザインセンターを設立。日本の建築インテリア業界の活性化のため、デザ
イン展、セミナー、シンポジウムなどの文化活動を一貫しておこなってきた。



西村 浩（にしむら ひろし）

建築家、(株)ワークヴィジョンズ 代表、北海道教育大学芸術課程特任教授

代表作:岩見沢複合駅舎、長崎水辺の森公園橋梁群6橋、佐賀わいわい!! コンテナプロジェクト等
東京大学大学院修了後、(株)GIA設計を経て1999年ワークヴィジョンズ設立。建築・土木・まちづくり等、
分野を超えて横断的に活動をしている。岩見沢複合駅舎にて、ブルネル賞・日本建築学会賞、グッド
デザイン賞大賞、BCS賞等受賞。長崎水辺の森公園にて、グッドデザイン賞金賞、土木学会デザイン賞
の他、受賞歴多数。

風景には物語があります。街の景観をデザインすることは物語を創る事です。豊かなデザインは人々を楽しませます。我々の暮らす都市には無数の物語があります。生活を彩る都市の伝説は夢と希望とそして愛に溢れています。今回のシンポジウムは、そんな夢のような物語をお届けできればと思い副題を「筋書きのない物語」としました。どんなシンポジウムになるかまったく予想がつきません。でも、ご協力頂く素晴らしいメンバーを見ていただくとお解りのように、ワクワクするようなミステリーツアーが待ち受けていることだけは確信できます。きっと、今までに見たことのないような景色が広がっているのではと思います。

このシンポジウムは今回で終わりではありません。「筋書きのない物語」はこれからも続きます。「誰が景観を創るのか」の真犯人が見つかるまで…。

JCCA 美しい国づくり専門委員会 委員長
富樫茂樹